

令和5年度 淀川本部管内 事業概要

未来へつなごう
びわ湖・よど川の水



独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社 淀川本部

水資源機構の役割

全国の7水系において、水資源開発施設等の建設・管理を行う独立行政法人として、利水・治水の役割を果たす。

利水

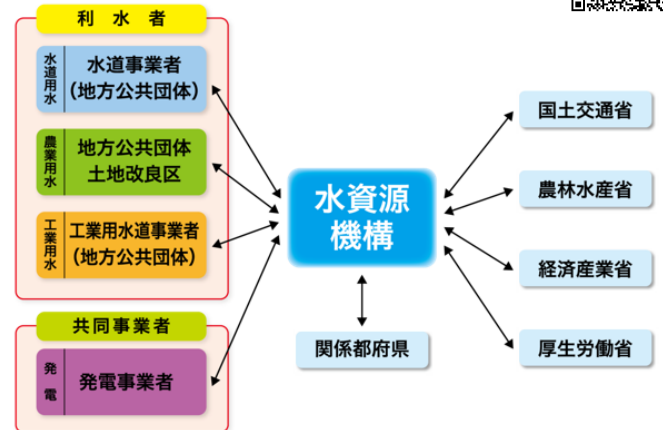
国民生活に必要な水（水道用水、農業用水、工業用水）を安定的に供給する

治水

洪水から国民の生命と財産を守る

〔多くの利水者や国、都府県などの関係者の間で中立的な立場に立って、ダムや水路などの建設・管理を効率的に実施〕

機構HP
いさ now



●水を必要とする地域の水資源を開発・供給

人口集中や産業発展に伴い、特に大量の水が必要な地域に対して、安定的に水を供給するために、7つの水系※において、水資源開発基本計画（フルプラン）に基づき、ダムや水路、堰などの水資源開発施設等を建設・管理。

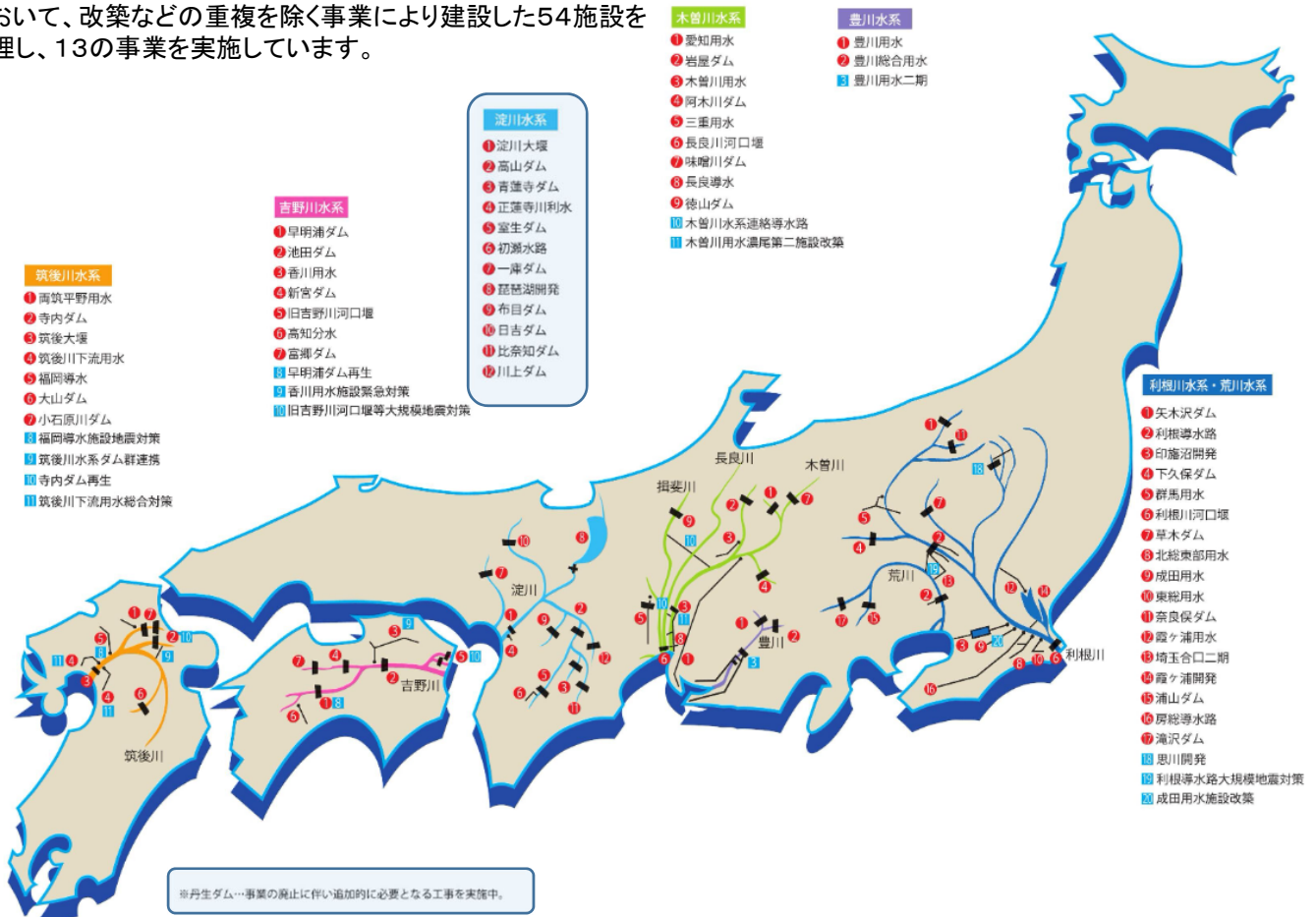
※ 7つの水系：利根川、荒川、豊川、木曽川、淀川、吉野川、筑後川

●広域的な水供給や治水の担い手

複数の都府県にまたがる地域に、水道用水、農業用水、工業用水を安定して供給するとともに、洪水調節などを実施。

7水系に広がる水資源機構の施設

水資源機構は、水資源開発水系として指定されている7水系において、改築などの重複を除く事業により建設した54施設を管理し、13の事業を実施しています。



淀川水系における水資源機構施設

淀川流域は、日本最大の湖である琵琶湖をかかえ、流域は三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良の2府4県にまたがり、流域内人口は、約1,700万人、流域面積は8,240km²に及びます。

水資源機構では、淀川水系において、12施設の管理をしています。

利水貢献



水道用水（給水可能人口）約1300万人相当

※1人1日当たり平均水使用量＝332ℓ（令和2年）より算出。
実際の給水人口とは合致しない。



農業用水（かんがい面積）約1,000ha



工業用水（工業製品出荷額への貢献）約2.7兆円/年

※淡水使用量の多い業種の淡水使用量と出荷額の関係（令和3年）より、淡水補給量1m³/t当たりの工業製品出荷額を232万円と仮定して算出。なお、工業製品の製造には水以外の要素も必要である。



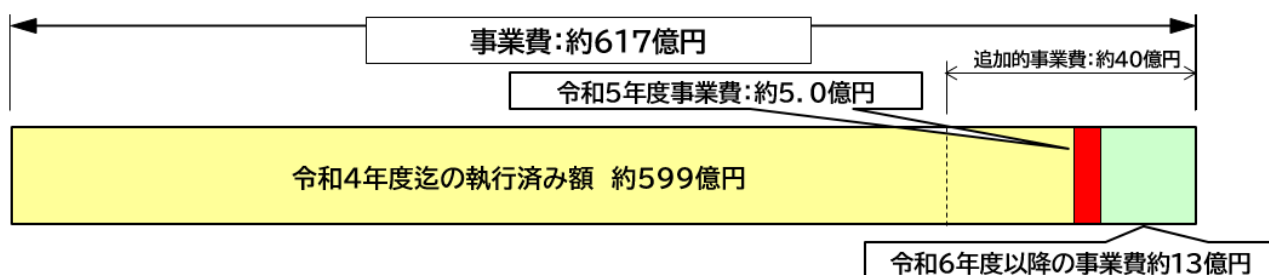
丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備

○事業の廃止に伴う主な整備内容

約40億円

(事業の廃止に伴い追加的に必要となる工事が完了する令和9年3月31日をもって精算し確定する予定)

- ・工事で損傷した道路の原形復旧・機能回復
- ・工事用仮設備や調査施設等の撤去
- ・追加工事実施のための測量設計
- ・事業用地保全(事業用地内の落石・倒木の処理及び冬期の除雪等)など



※事業費は、事業の廃止までに要する費用の概算額であり、事業実施計画の廃止(平成29年3月31日認可)に伴うものである。

●令和5年度の実施内容

事業廃止に伴う現県道の機能回復工事等を実施

令和5年度 事業費 約5.0億円



機能回復工事状況(令和4年度実施事例)

●丹生ダム建設事業の廃止に伴う概略整備工程

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
工事で損傷した道路復旧 工事用仮設物撤去											
撤去(調査施設、電気通信設備等)											
事業用地保全 (事業用地内の落石・倒木の処理 及び冬期の除雪等)											

施設管理の概要



令和5年度施設管理に伴う予算額

(単位: 百万円)

事業名	予算額
琵琶湖開発	2,421
高山ダム	606
青蓮寺ダム	441
室生ダム・初瀬水路	509
布目ダム	623
比奈知ダム	657
川上ダム	691
一庫ダム	498
日吉ダム	729
正蓮寺川利水	500
淀川大堰(国への委託費含む)	92

施設の管理 ～安全で良質な水を安定して安くお届けするために～

確実な施設機能の確保と計画的な施設の整備

■施設の巡視・点検

日常的に施設の巡視やダム堤体観測などを行い、施設の状況を的確に把握しています。



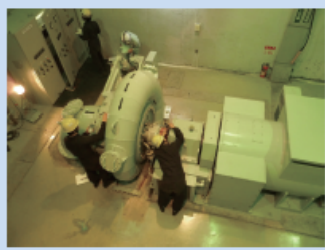
堤体内での漏水量の測定



設備点検

■設備の点検

電気通信・機械設備の点検は、設備の損傷や性能・機能低下等を発見するために実施するとともに、点検結果を継続的に蓄積して適切な整備計画・実施の資料として活用し、機能維持と信頼性の確保を図るために実施しています。



管理用水力発電設備の点検【布目ダム】

■設備の整備

設備の整備は、点検によって発見された機能低下、故障や損傷などを正常な状態と比較した「健全度」及び「経過年数」や「故障頻度」などを総合的に評価してライフサイクルコストを考慮し優先度を定め設備機能の確保を目的として実施しています。



非常用洪水吐きゲート整備(水密ゴムの交換作業)
【日吉ダム】



ポンプ設備の点検【正蓮寺川利水施設】

■ストックマネジメント

ダムの安全性や機能を長期にわたり保持するため、3年毎に定期検査を行うとともに、管理開始から30年経過したダムでは総合点検を行っています。総合点検等の結果から、ダムを構成する設備等毎の中長期的な維持管理方針を定めたダムの長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を行っています。



ダム定期検査の実施状況【高山ダム】

■設備の更新

設備の更新は、設備の整備を実施していても、設置した時点と比較して設備の性能等が低下して、信頼性、安全性が維持できなくなった場合にコスト縮減を考慮しながら正常な設備機能の確保を目的として実施しています。



放流警報設備更新(職員による機能確認)
【比奈知ダム】

危機への備え

■防災業務計画等の策定

震災、風水害、水質事故等、様々な災害への対策を定め、これに基づく資機材の備蓄や訓練を行っています。

また、国民保護法に基づく業務計画を定め、国、地方公共団体その他の機関と連携して、国民保護措置等の的確かつ迅速な実施に万全を期しています。

■大規模災害等に対応するための日常の訓練

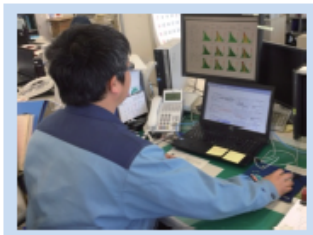
国や利水者、警察や消防などの各機関と連携した洪水対応演習、地震防災訓練などを日頃から実施し、洪水や大規模地震などの自然災害や水質事故に備えています。



淀川本部における訓練の実施状況

■耐震性能の強化

耐震性能の強化を図り、安全性への信頼を高めるために、大規模地震に対する耐震性能の照査や地震リスク評価の結果を踏まえ、計画的に耐震対策を検討、実施しています。



耐震対策の検討

琵琶湖開発施設の管理

【管理の目的】

琵琶湖開発事業で整備された施設の操作や維持・修繕などの業務を行い、琵琶湖周辺の治水と安定した水道用水・工業用水の供給を行っています。

◇治水対策

琵琶湖周辺の浸水被害の軽減と下流淀川の洪水流量を低減しています。

- 湖岸堤・管理用道路：総延長50.4km
- 内水排除施設（排水ポンプ場）：14ポンプ場



◇利水対策

水道用水最大30.169m³/s、工業用水9.831m³/sの供給が可能です。

- 瀬田川洗堰バイパス水路により、下流域への放流量(水量)をきめ細かく調節します。



◇環境保全

湖岸堤に自然豊かな前浜を創出し、琵琶湖の水辺環境の保全に取り組んでいます。



地域の皆さんと連携して湖岸清掃や自然観察会イベントなどを行っています。

正蓮寺川利水施設の管理

【管理の目的】

阪神地区の都市用水8.5m³/s(水道水5.195m³/s、工業用水3.305 m³/s)を確保するため、淀川から最大22.0m³/sを取水し、正蓮寺川及び六軒家川に分水しています。
また、高潮対策として、大阪府からの指令に基づき、内水排除操作を実施しています。



平成30年7月豪雨における一庫ダムの治水効果

淀川水系猪名川の一庫ダム流域では降り始めの5日2時から8日2時までの総雨量が550.9mm(流域平均累計雨量)となり、管理開始以降最大の降雨量を記録しました。この降雨により、ダムへの流入量は、最大毎秒626立方メートルを記録しましたが、最大流入量の約76% (毎秒約481立方メートル) を低減させ、同時刻における放流量を毎秒149立方メートルとしました。また、操作ルールに基づき、洪水量を減少させ、ダムが満杯に近づく中でも、流入量を上回る放流量とならないよう、6日13時5分から異常洪水時防災操作を開始しました。この操作は、管理開始(昭和58年4月)以降初めてとなります。

この一連の操作により、洪水(京セラドーム大阪約13杯分(約1,622万立方メートル)に相当する量)をダムに貯留し、洪水ピーク流量の発生時刻を約19時間遅らせて避難時間等を確保するとともに、ダム下流の多田院水位観測所地点(川西市多田院地先)では、約0.75m以上の水位低減効果があったものと推定され、ダムがなかった場合には洪水は堤防から越水し浸水被害が発生したものと想定されます。

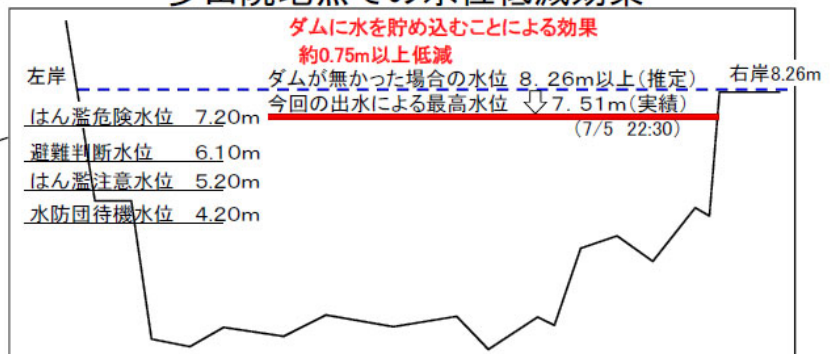


洪水貯留開始前の貯水池の状況
(7月2日10時頃 EL135.84m)



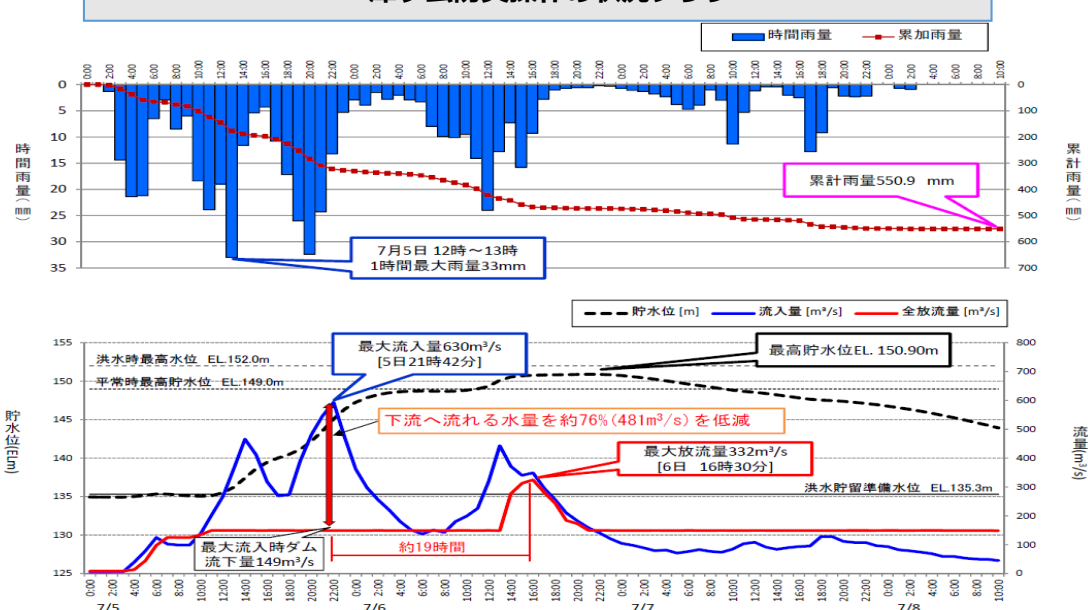
洪水時最高水位に近づく貯水池の状況
(7月6日17時頃 EL150.81m(上昇中))

多田院地点での水位低減効果



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

一庫ダム防災操作の状況グラフ



平成30年7月豪雨における日吉ダムの治水効果

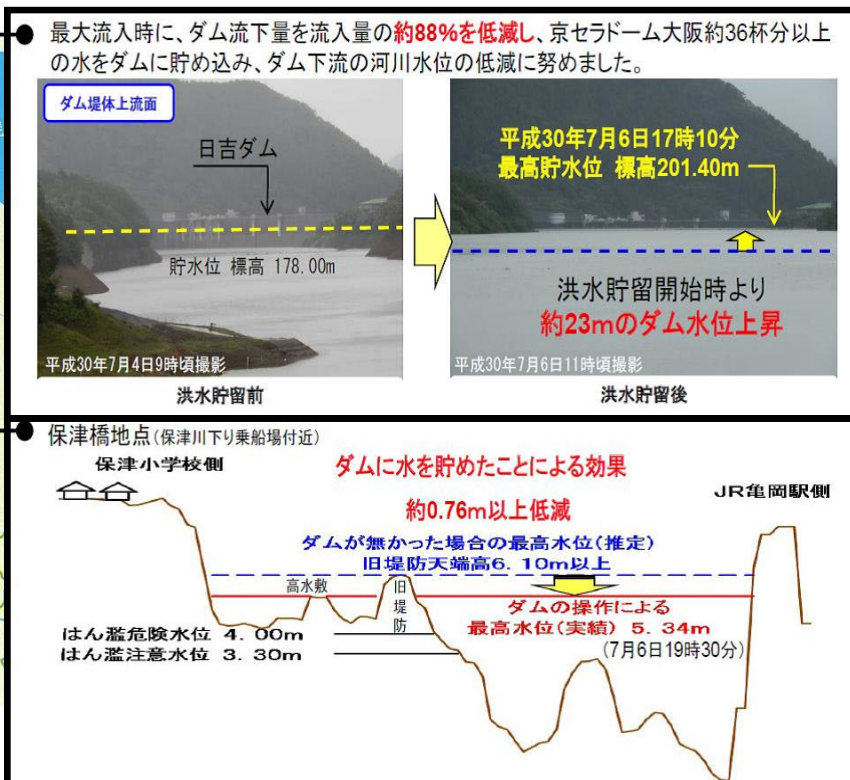
淀川水系桂川の日吉ダム流域では降り始めの7月3日21時から8日4時までの総雨量が492mm(流域平均累計雨量)となり、管理開始以降最大の降雨量を記録しました。この降雨により、ダムへの流入量は、最大毎秒1,258立方メートルを記録しましたが、最大流入量の約88%（毎秒約1,109立方メートル）を低減させ、同時刻における放流量を毎秒149立方メートルとしました。また、操作ルールに基づき、洪水量を減少させ、ダムが満杯に近づく中でも、流入量を上回る放流量とならないよう、6日4時5分から異常洪水時防災操作を開始しました。

この操作は、最大のダム流入量を記録した平成25年9月16日の台風18号洪水以来となります。

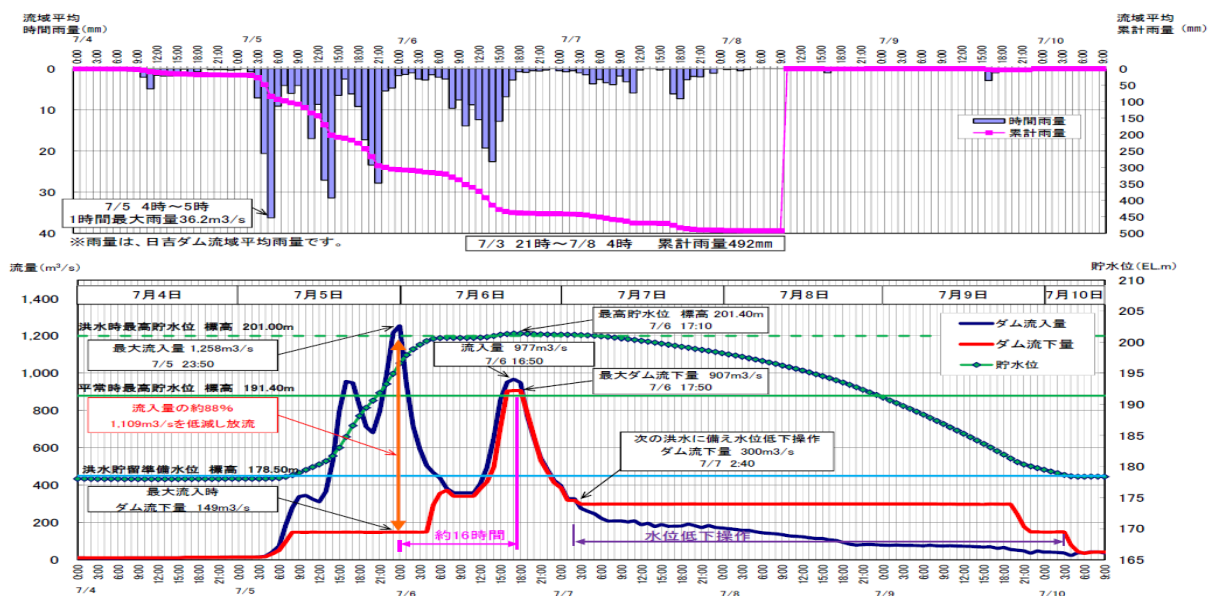
この一連の操作により、洪水(京セラドーム大阪※約36杯分(4,337万立方メートル)に相当する量)をダムに貯留し、洪水ピーク流量の発生時刻を約16時間遅らせて避難時間等を確保するとともに、ダム下流の保津橋地点(亀岡市保津町下中島地先)では、約0.76m以上の水位低減効果があったものと推定され、ダムがなかった場合には旧堤防高の6.10mより上昇していたと推定されます。



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。



日吉ダム防災操作の状況グラフ



平成30年台風21号における内水排除（正蓮寺川利水）

台風21号の影響に伴い、高潮防御のため正蓮寺川水門及び六軒家川水門が閉鎖され、雨水等の流入水による河川水位上昇を抑えるため、高見機場（ポンプ場）から、正蓮寺川及び六軒家川河川水を淀川に排水する内水排除操作を行いました。

高見機場が受け持つ高潮対策流域（内水排除流域）では、平成30年9月4日10時頃から雨が降り始め、同日21時までに総雨量で39mm（高見機場雨量計）の降雨があり、高見機場から累計約14万m³の雨水等を淀川に排水しました。

この操作により正蓮寺川、六軒家川内水位を計画貯留内水位（OP+3.50m）以下に留め、内水排除流域の浸水被害を食い止めることができました。なお、内水排除時の外水位（淀川水位）としては、管理開始以降（昭和47年以降）最高水位（OP+5.09m）を記録しました。

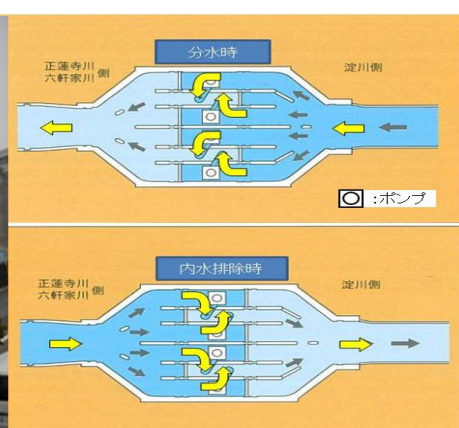
※OPとは大阪湾と淀川における高さの基準です。



内水排除流域施設位置図

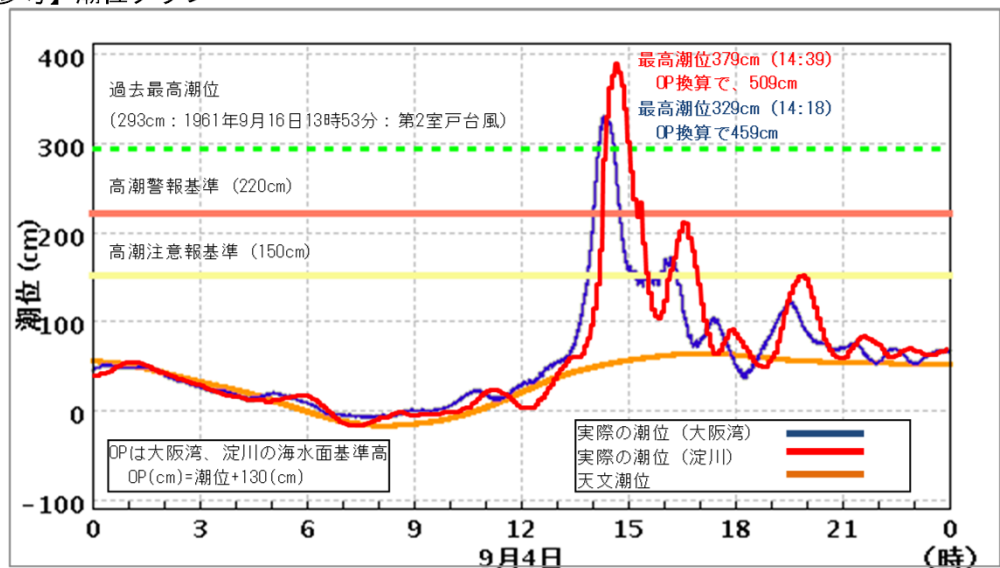


淀川への排水(取水口部)



高見機場ゲート切替図

【参考】潮位グラフ



(出典：気象庁HP)

【正蓮寺利水事業における高潮対策（内水排除）について】

大阪府の高潮対策の一環として、水資源機構が受託し上図(左)に示す流域（赤斜線）の市街地の内水排除を行っています。

高潮時には、市街地への高潮による浸水を防ぐため、正蓮寺川、六軒家川の防潮水門が閉鎖され、流域に降った雨や下水処理水の排水は大阪市下水施設から正蓮寺川と六軒家川の防潮水門内に流入するため、流域内には内水が溜まり浸水被害が発生する恐れがあることから、この内水を高見機場から淀川に排水しています。高見機場は、通常時は淀川から正蓮寺川と六軒家川に最大22m³/sの河川維持用水を分水していますが、高潮時等は、高見機場のゲートを上図（右）のように切り替え、正蓮寺川と六軒家川の内水を排水（計画排水量19m³/s）しています。

令和3年10月から令和4年5月における渇水への対応 (一庫ダムの効果)

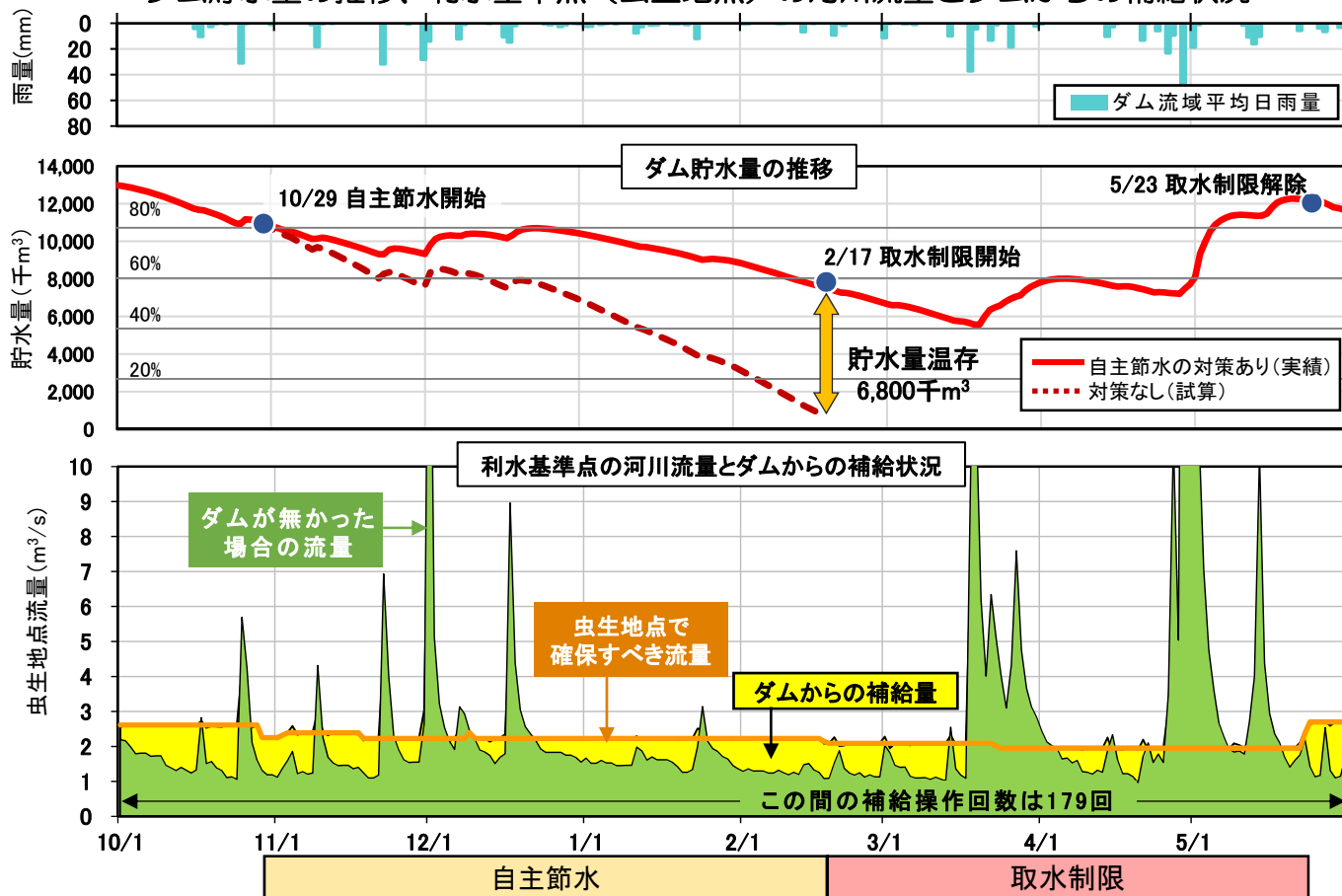
猪名川流域では令和3年10月から雨が少なかったことから、一庫ダムでは下流河川への補給に伴う貯水率の低下傾向が続いたため、利水者団体による自主節水が、10月29日から開始され、11月18日からはそれが強化されました。その後も渇水傾向が続き、令和4年2月17日からは10%取水制限が開始され、3月23日に20%に強化。その後、取水制限の効果と周期的な降雨によって貯水位が回復してきたことから、5月23日に取水制限は全面解除となりました。

今回の取水制限期間96日間は過去4番目の長期間となり、それに先立ち行われた自主節水111日間も過去最長となりました。一庫ダムでは利水者団体とともに自主節水の実施に係る手続きの明確化、迅速化、省力化を図るルールを定め、実施したことで、可能な限りの貯水量温存ができたことから、幸いにもこの間、地域の皆様の生活に直接的に影響を及ぼす事態には至りませんでした。なお、この自主節水に係る実施手順のルールについて、令和4年3月に利水者団体と一庫ダム管理所との間で「自主節水期対応に関する覚書」として締結しました。

令和3年のダム流域の年間降水量は1,786mmで、ダム管理開始以降39年間の平均雨量(平年値)の1,493mmに対して約1.2倍でした。しかしながら、9月までは平年値の約1.3倍と多かったのに対し、10月から12月の間の雨量は平年値の約0.8倍と少なかったことから、今回の冬季渇水となりました。

一庫ダムでは、令和4年5月23日の取水制限解除までの間に、計179回の補給量の調整操作を行うなど、きめ細やかなダム操作に努めました。

ダム貯水量の推移、利水基準点(虫生地点)の河川流量とダムからの補給状況



環境保全への取り組み

水 質 保 全

総合的な貯水池等の湖沼水質管理の必要性

水資源機構は、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」ために貯水池の水質保全に努めています。それぞれのダム流域の特性等により必要な対策は異なりますが、具体的には、貯水池内の水質保全とダムから放流する放流水の水質保全のため次のような施設を設置して運用しています。

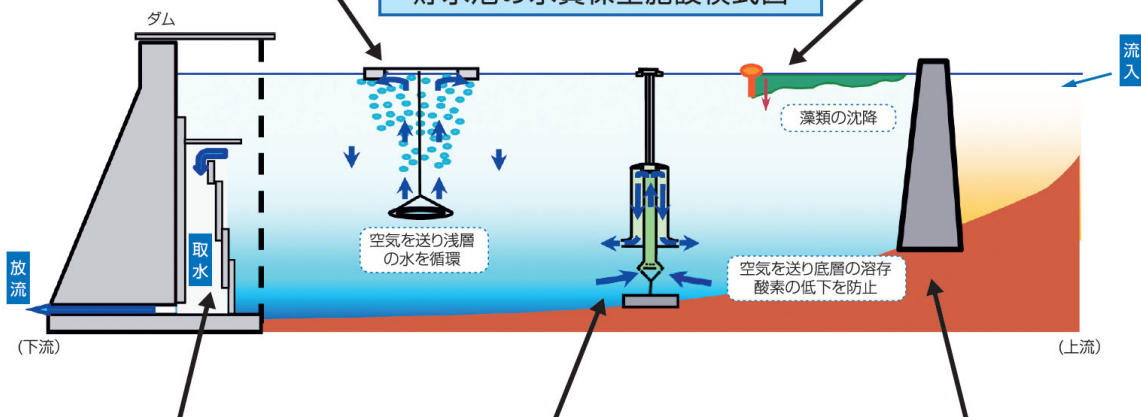
① 浅層曝気循環設備



② 分画フェンス



貯水池の水質保全施設模式図



③ 選択取水設備



④ 深層曝気設備



⑤ 副ダム



- ①【浅層曝気循環設備】 浅層の水を循環させて藻類発生を抑制します。
- ②【分画フェンス】 貯水池上流の流入河川などで発生しやすい藻類を沈降させて拡散を防止します。
- ③【選択取水設備】 水質の状況に応じて取水深を変更して、良好な水を下流に放流します。
- ④【深層曝気設備】 貯水池底に空気を送り底層の溶存酸素の低下を防止します。
- ⑤【副ダム】 貯水池上流端付近の副ダムにより貯水池に流入する栄養塩類・汚濁等を沈降させて流入を防止します。

環境保全

生態系に配慮した環境保全の取組み

水資源機構は、水資源開発施設の建設や管理を通じて、水の恵みを社会にもたらすとともに、自然の脅威から人々の生活を守ってきました。事業の実施にあたっては、自然との共生や良好な水環境の保全と創造に向けて、環境調査や環境保全対策を適切に実施するなど、環境保全に積極的に取り組んでいます。

具体的な取り組みとして、希少野生動植物の保全対策の実施、ダム下流河川環境の改善を目的としたフラッシュ放流などを行っています。また、これらの環境保全対策の効果や環境への影響を監視するためのモニタリング調査を実施しています。

環境保全対策



オオサンショウウオの保護・移転
【川上ダム】



植物の移植による保全
【川上ダム】



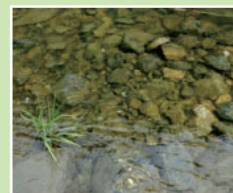
オオサンショウウオ生育環境の保全
(遡上路的設置) 【川上ダム】



フラッシュ放流及び土砂還元【一庫ダム】



(実施前)



(実施後)

環境保全意識の向上のために

職員の環境に対する意識と知識の向上を図るため、環境学習会を開催しています。この環境学習会には、地域の方々にも参加していただき、地域環境の保全に対する意識を共有するとともに、水資源機構の事業や環境保全の取組を理解していただくよう努めています。

環境学習会



水の調査隊（小学生を対象とした学習会）
【川上ダム】



お魚里帰り大作戦（ビオトープに棲んでいるフナやコイを琵琶湖へ放流）



最近のトピックス

川上ダム建設事業完了式を開催

令和5年3月26日（日）、当機構が三重県伊賀市で進めておりました川上ダム建設事業の完了にあたり、式典を開催しました。お足元の悪い中でありましたが、約200名の方にご出席いただきました。

式典は、理事長による主催者挨拶に続き、来賓挨拶、来賓紹介、祝電披露、感謝状贈呈、川上ダム建設所長による事業経過報告、施工者挨拶が行われました。その後記念行事として、万歳三唱を行ったあと、ダム湖名碑除幕（岡本伊賀市長に揮毫していただきました）を実施し、建設事業完了を祝いました。

来賓の方々には、川上ダムが伊賀地域への治水の役割、伊賀市への利水の役割を果たし、観光による地方振興に寄与することに期待するなどのお言葉をいただきました。

皆様におかれましては、長きに亘り川上ダムの建設事業にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

令和5年度より、適切な管理運用に努めて参ります。



万歳三唱の様子



ダム湖名碑除幕



川上ダム全景

最近のトピックス

「『琵琶湖の水』へのメッセージ発表会」を共催

令和5年1月28日（土）、滋賀県立琵琶湖博物館ホールで、琵琶湖開発施設管理開始および瀬田川洗堰操作規則制定30周年を記念した「『琵琶湖の水』へのメッセージ発表会」を国土交通省近畿地方整備局と共催しました。

「琵琶湖の水」の関係者である滋賀県知事、京都府知事、大阪府知事、兵庫県知事、大阪広域水道企業団企業長よりメッセージをいただきました。

パネルディスカッションでは、プロデューサー、ジャーナリスト、ミュージシャンの川本勇様のコーディネートのもと、滋賀県土木交通部流域政策局長の伊吹信人様、大阪広域水道企業団副企業長の松本竜三様、滋賀県立琵琶湖博物館副館長の亀田佳代子様、2022年度ミス日本 水の天使の横山莉奈様、国土交通省近畿地方整備局河川部長の小島優様がパネリストとして、応募されたメッセージの中から一部をご紹介していただき、それぞれの立場からのご感想を述べられ、ディスカッションが行われました。会場102名、オンライン370名、総勢472名の方が参加され、盛況のうちに終了しました。

応募いただいた「琵琶湖の水」に対する様々な感謝のメッセージを通じて、琵琶湖開発事業により、琵琶湖沿岸や淀川の洪水防止による流域の安全をもたらされていることや京阪神地域への水の安定供給が関西地域の社会経済活動の基盤となっていること、また、琵琶湖の生物多様性や自然環境についても再認識することができ、琵琶湖が存在することのありがたさを改めて実感することができました。

また、参加者の方に琵琶湖開発事業に対するご理解を深めていただける機会にもなったと考えています。

参加者の皆様、メッセージを応募いただきました皆様、誠にありがとうございました。



パネルディスカッションの様子

最近のトピックス

インフラメンテナンス大賞で優秀賞を受賞

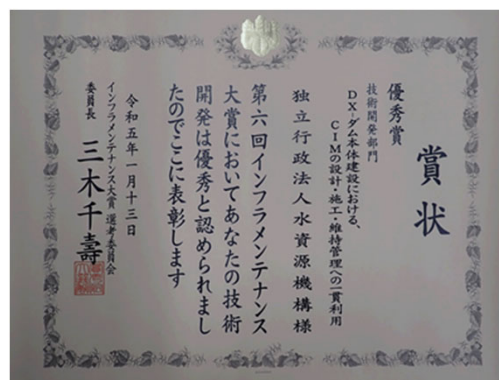
令和5年1月13日（金）、『第6回インフラメンテナンス大賞表彰式』が開催され、『DX-ダム本体建設における、CIMの設計・施工・維持管理への一貫利用』（川上ダム建設事業）が、国土交通省の技術開発部門（河川・ダム・砂防・海岸分野）において、優秀賞を受賞しました。

インフラメンテナンス大賞は、日本国内における社会資本のメンテナンス（以下「インフラメンテナンス」という。）に係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

引き続き、DX推進による効率化などの技術を蓄積していき、ダム・用水路等の施設管理を行ってまいります。



表彰式（写真右：津久井川上ダム建設所長(R5.1当時)）



国土交通省による記者発表は、以下のリンク先からご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000286.html



土木学会関西支部技術賞を受賞

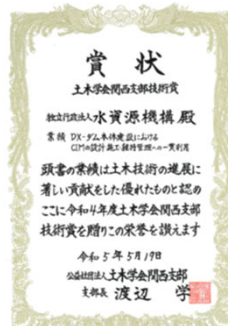
令和5年5月19日（金）、土木学会関西支部総会が建設交流館で開催され、『DX-ダム本体建設における、CIMの設計・施工・維持管理への一貫利用』（川上ダム建設事業）が、土木学会関西支部技術賞を受賞しました。

土木学会技術賞は、土木技術の発展に貢献する優れた業績を表彰することにより、その成果をたたえとともに支部会員の意識の高揚を図ることを目的として1982年に設けられた表彰制度です。

引き続き、DX推進による効率化などの技術を蓄積していき、ダム・用水路等の施設管理を行ってまいります。



受彰式の様子
（写真左から2番目：津久井 前川上ダム建設所長）



土木学会ホームページは、以下のリンク先からご覧いただけます。



<https://www.jsce-kansai.net/?p=5307>

最近のトピックス

カーボンニュートラルへの取り組み

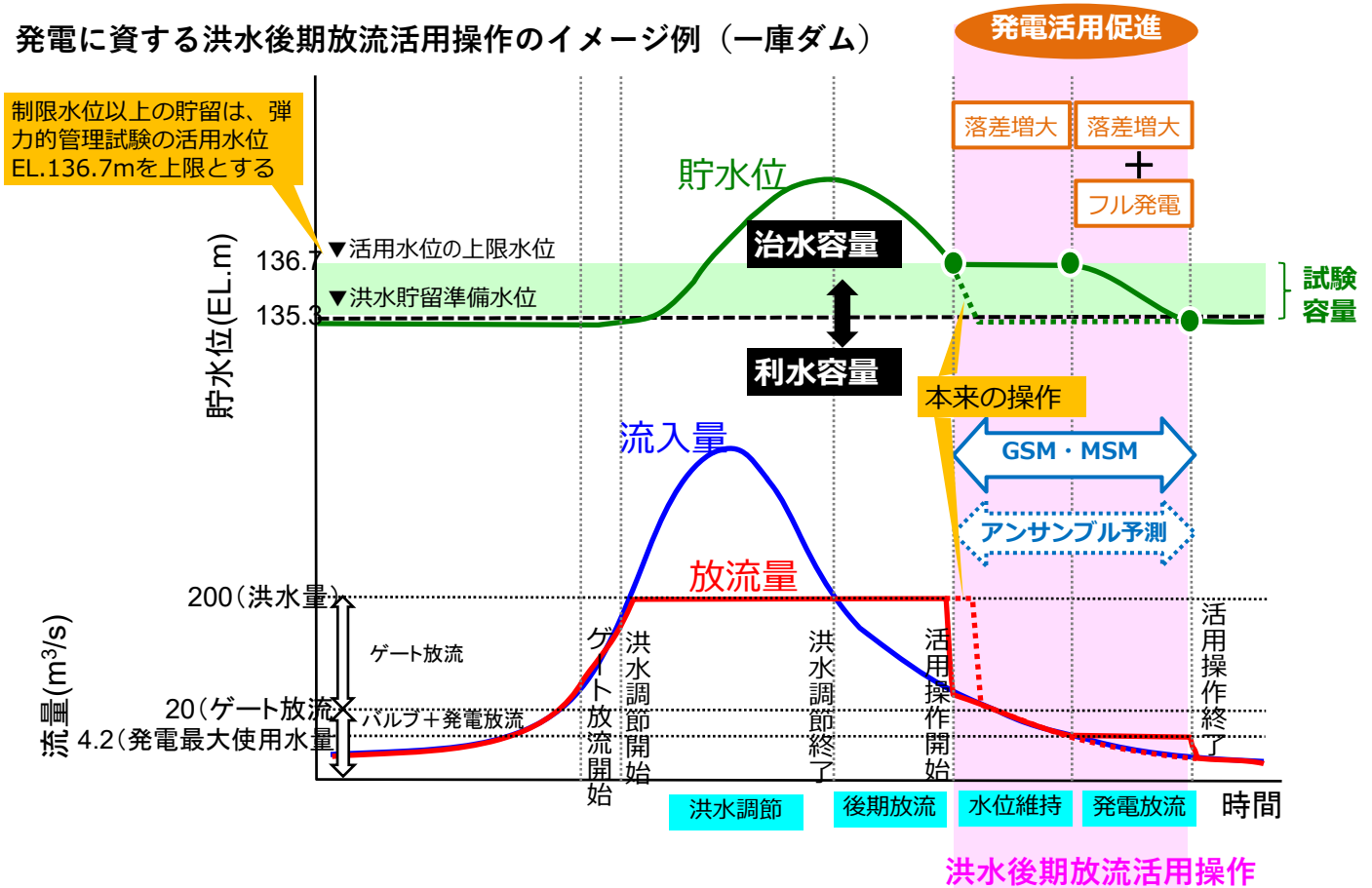
政府が推進するカーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現に向け、既存ダムの有効貯水容量を最大限活用し、再生可能エネルギーである水力発電の増電に資する取り組みを推進しています。

通常は、洪水調節により洪水調節容量内に貯まった水を、次の洪水に備えて速やかにダムから放流し貯水位を低下させます（この操作を「洪水後期放流」といいます。）が、気象予測で降雨が見込まれないときは、貯水位を高めを保ち発電設備からの放流により徐々に水位低下を図る取り組みを、令和4年度から一庫ダム及び比奈知ダムで試行運用しています。

貯水位を高く保つことで発電効率が高まること、また、流入量が低減しても、貯水位が高い間は発電最大使用水量での放流が可能となることから、その分増電が期待され、ひいては管理費縮減にも寄与します。

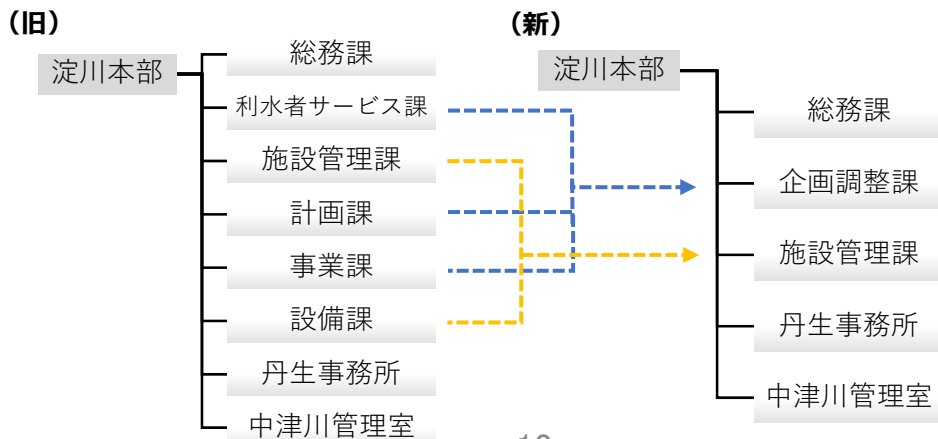
管内の他ダムでも、令和5年度以降、同様の取り組みを実施できるよう準備を進めています。

発電に資する洪水後期放流活用操作のイメージ例（一庫ダム）



「関西・吉野川支社 淀川本部」組織体系が変わりました

◆令和5年4月1日からの組織体系は以下のとおりです。



淀川本部管内YOUTUBE動画のご紹介



YouTube

淀川本部管内のバーチャルダム見学ツアー動画

水資源機構では従来からご好評をいただいているダムの見学について、気軽にダム内部見学をご体験いただけるよう、バーチャルダム見学ツアー等の動画をYouTube上に公開しています。淀川本部管内のダムの動画をご紹介しますので、現地で実際にダムを見学している感覚をお楽しみください。



淀川本部ホームページからご覧いただけますので、ぜひご覧下さい。

<https://www.water.go.jp/kansai/kansai/pdf/youtubedouga.pdf>



YouTube

ひとくらダムミッション ～テーマごとにシリーズでご紹介～

- ◇Ser.1 桜 ～北摂の里山とエドヒガン～
- ◇Ser.2 響 ～医療従事者への感謝を込めて～
- ◇Ser.3 挑む渇水 ～地域の暮らしの日常を守るために～
- ◇Ser.4 鮎 ～川の再生・水とのふれあい～
- ◇Ser.5 挑む防災 ～大雨による洪水から地域を守るために～

ひとくらダムミッションシリーズは第5編で完結となります。



一庫ダムホームページからご覧いただけますので、ぜひご覧下さい。

https://www.water.go.jp/kansai/hitokura/photo_gallery/index.html



その他YOUTUBE動画のご紹介



YouTube

水資源機構チャンネル <https://youtube.com/c/jwapr>



水資源機構の60年を記念した、各事業所などの紹介・PR動画です。

本社ホームページからご覧いただけますので、ぜひご覧下さい。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/60th/index.html>



水資源機構の新たな放流動画「水紀行」をお届けします。あなたがいくつわかりますか？

本社ホームページからご覧いただけますので、ぜひご覧下さい。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/index.html>



淀川本部管内事務所の所在地

事業所名	電話番号	郵便番号	所在地	HP
関西・吉野川支社 淀川本部	06-6763-5182	540-0005	大阪府大阪市中央区上町A番12号	
丹生事務所	0749-82-5560	529-0426	滋賀県長浜市木之本町黒田1234 滋賀県木之本合同庁舎1F	
中津川管理室	06-6462-7701	540-0001	大阪府大阪市此花区高見1-10-46	
琵琶湖開発総合管理所	077-574-0680	520-0243	滋賀県大津市堅田2-1-10	
湖北管理所	0749-52-5160	521-0011	滋賀県米原市中多良1-2	
湖西管理所	0740-22-1500	520-1623	滋賀県高島市今津町住吉1-3-4	
湖南管理所	077-568-4102	525-0001	滋賀県草津市下物町1091-58	
木津川ダム総合管理所	0595-64-8961	518-0413	三重県名張市下比奈知2811-2	
高山ダム管理所	0743-94-0201	619-1421	京都府相楽郡南山城村大字田山字ツルギ43	
青蓮寺ダム管理所	0595-63-1289	518-0442	三重県名張市中知山1-166	
室生ダム管理所	0745-92-2320	633-0315	奈良県宇陀市室生大野3846	
布目ダム管理所	0742-94-0231	630-1234	奈良県奈良市北野山町869-2	
比奈知ダム管理所	0595-68-7111	518-0412	三重県名張市上比奈知字熊走り1706	
川上ダム管理所	0595-52-3690	518-0294	三重県伊賀市阿保2171-12	
一庫ダム管理所	072-794-6671	666-0153	兵庫県川西市一庫字唐松4-1	
日吉ダム管理所	0771-72-0171	629-0335	京都府南丹市日吉町中神子ヶ谷68	



水がささえる豊かな社会



独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社淀川本部

〒540-0005
大阪市中央区上町A番12号 上町セイワビル内

TEL.06-6763-5182(代)
<https://www.water.go.jp/kansai/kansai/>

